

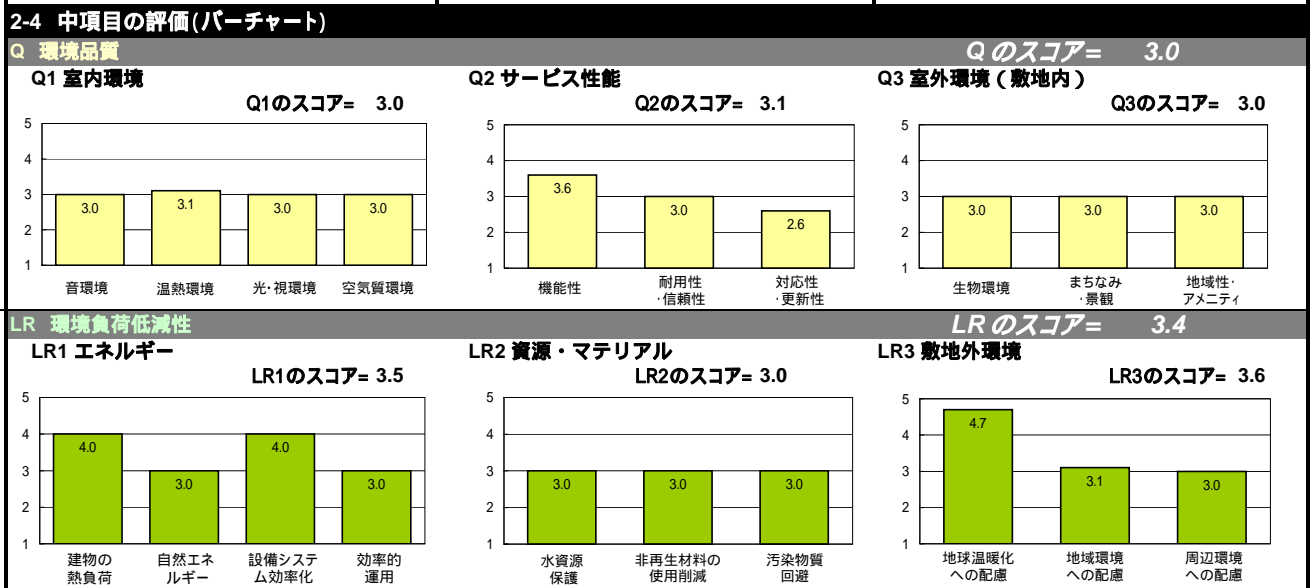
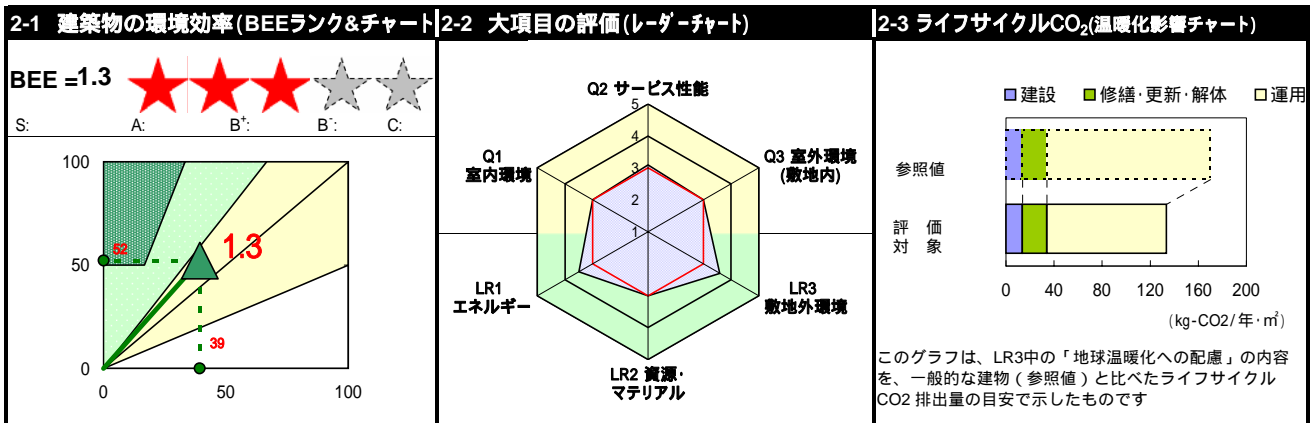
CASBEE™ 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.1.0)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-----------------------|--------|-------------|
| 建物名称 | (仮称)梅林園G棟新築工事 | 階数 | 地上5F,地下1F |
| 建設地 | 京都府城陽市中芦原55-7 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 用途地域無指定 | 平均居住人員 | 87人 |
| 気候区分 | 地域区分 | 年間使用時間 | 8,760時間/年 |
| 建物用途 | 工場,病院, | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2010年3月 予定 | 評価の実施日 | 2008年10月16日 |
| 敷地面積 | 20,233 m ² | 作成者 | ライフ建築設計室 |
| 建築面積 | 1,016 m ² | 確認日 | 2008年10月18日 |
| 延床面積 | 5,113 m ² | 確認者 | 山本 満明 |

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項

| 総合 | その他 | | |
|---|---|---|--|
| 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 | 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。 | | |
| Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 | Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 | Q3 室外環境(敷地内) 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 | |
| LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 | LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 | LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 | |

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい